



A

ACL

- running-config、表示 1-11, 1-15
- アクティビティのロギング 4-12
- ロギングのグローバルな無効化 4-13

ADI

- Cisco.com にある A-2
- 削除 1-26, A-14
- 展開 1-26

API (アプリケーションプログラミング インターフェイス)、設定 7-1

archive ディレクトリ

- からのファイルの復元 1-30
- 削除 1-29
- へのファイルのアーカイブ 1-27

ArrowPoint Distribution Image。ADI を参照

C

CLI

- CSS の設定、表示 1-37
- XML コード内の階層 7-3
- XML コードの表記法 7-3
- コマンド、sys.log へのロギング 4-19
- コマンド スケジューラ 8-4
- コンテンツ API、設定 7-2

端末画面出力行、設定 3-7

表記法 xxvii

プロンプト、変更 3-12

core ディレクトリ 1-3

CSS 11501 ディスク

CLI での設定 1-17

CLI でのフォーマット 1-18

CSS。コンテンツ サービス スイッチを参照

D

DoS (サービス運用妨害)

running-config の例 5-25

SNMP トラップ タイプ、定義 5-26

SNMP を使用して設定 5-24

表示 5-27

DoS。サービス運用妨害を参照

F

FTP

サーバへのログ ファイルのコピー 1-35,
4-26

ブート、セカンダリ ブート レコード 2-6,
2-10, B-13

ブート、プライマリ ブート レコード B-8
レコード、設定 1-5

FTP サーバ

- からのファイルのコピー 1-7
- コア ダンプのコピー 1-35
- レコード、設定 A-2
- ログ ファイルのコピー 4-26

G

- GZIP 圧縮されたソフトウェア A-2

H

- HTTP サーバ、CSS での設定 7-5

I

IP アドレス

- Offline Diagnostic Monitor メニューでの設定 B-15
- 検索 1-15

M

MIB

- CSS 5-41
- アップグレード A-17
- エンタープライズ 5-7
- オブジェクト 5-5
- オブジェクト ID 5-7
- オブジェクトの検索 5-30, 6-18
- オブジェクトをサンプル変数として定義 6-18
- ディレクトリ 1-3

- 変数 5-7

- 有用な統計情報 5-32

O

Offline Diagnostic Monitor メニュー

- IP アドレスの設定 B-15
- 管理ポート用デフォルト ゲートウェイの設定 B-15
- 高度なオプション B-16
- サブネット マスクの設定 B-15
- ディスク オプション B-20
- ディスク チェックの実行 B-22
- ディスク チェックの有効化または無効化 B-24
- ディスクの再フォーマット B-20
- パスワード保護の設定 B-17

Offline Diagnostic Monitor メニューの高度なオプション B-16

R

RMON

- RMON-1 グループ 6-2
- アラーム インデックス、作成 6-15
- イベント設定 ID、作成 6-6
- 概要 5-11, 6-2
- 設定についての考慮事項 6-3
- 統計情報グループ 6-2
- 統計情報の消去 6-34
- 統計情報の表示 5-32, 6-30
- 履歴設定 ID、作成 6-26

- RMON アラーム
 - running-config の例 6-14
 - アクティブ化 6-23
 - アトリビュートの設定 6-16
 - インデックス、削除 6-16
 - インデックス、作成 6-15
 - 下降しきい値、定義 6-21
 - グループ 6-2
 - サンプリングのタイプ、定義 6-19
 - サンプリング例 6-11
 - サンプル間隔、定義 6-22
 - サンプル変数、定義 6-17
 - 始動アラーム、定義 6-22
 - 上昇しきい値、定義 6-20
 - 所有者、定義 6-17
 - 設定 6-11
- RMON アラームの下降しきい値 6-21
- RMON イベント
 - running-config の例 6-5
 - アクティブ化 6-10
 - アトリビュートの設定 6-7
 - インデックス、削除 6-7
 - クイック設定 6-5
 - グループ 6-2
 - コミュニティ、定義 6-7
 - 所有者、定義 6-8
 - 設定 6-4
 - 説明 6-8
 - 中断 6-10
 - 通知の種類、定義 6-9
 - ディスク ログ ファイルの表示 6-38
 - トラップログ ファイルの表示 6-37
 - 表示 6-37
- RMON の始動アラーム 6-22
- RMON 履歴
 - running-config の例 6-25
 - アクティブ化 6-29
 - アトリビュートの設定 6-27
 - グループ 6-2
 - 情報の表示 6-34
 - 所有者、定義 6-28
 - 設定 6-24
 - 設定 ID の削除 6-27
 - データ オブジェクト、定義 6-28
 - バケット間隔、定義 6-29
 - バケット数、定義 6-28
- running-config
 - アーカイブ 1-29
 - コピー 1-8
 - 使用方法 1-8
 - テキスト エディタによる作成 1-15
 - 内の情報の順序 1-15
 - 表示 1-11
 - リセット 1-10
 - 例 1-13
- running-config の例
 - DoS 5-25
 - RMON アラーム 6-14
 - RMON イベント 6-5
 - RMON 履歴 6-25
 - SNMP エージェント 5-14
 - ロギング 4-6

- S**
- SCM
- ディスク、CLI での設定 1-17
 - ディスク、CLI でのフォーマット 1-18
 - パッシブ SCM の IP アドレス、設定 2-13
 - パッシブ SCM のブートレコード、設定 2-12
 - パッシブのネットワーク ブート、設定 2-23
 - プライマリのネットワーク ブート設定 2-22
- showtech スクリプト 8-51
- SNMP
- GET 5-3
 - GET-NEXT 5-3
 - MIB 5-5
 - running-config の例 5-14
 - SET 5-3
 - エージェント 5-2, 5-3
 - 管理 5-30
 - コミュニティ、RMON イベント 6-7
 - コミュニティ、使用 5-30
 - 設定 5-11
 - 設定の表示 5-29
 - トラップ 5-3
 - トラップ ホスト 5-13
 - マネージャ 5-2, 5-3
- socket コマンド 8-42
- startup-config
- アーカイブ 1-29
 - アーカイブしたファイルの復元 1-32
 - オフラインでの保存 1-9
 - 概要 1-4
 - コピー 1-8
 - 使用方法 1-8
 - テキスト エディタによる作成 1-15
 - 内の情報の順序 1-15
 - 表示 1-14
 - リセット 1-10
 - sys.log 1-3, 4-2, 4-3, 4-15, 4-19
 - sys.log.prev 4-4
 - syslogd、への記録 4-3, 4-4
- T**
- terminal timeout、設定 3-9
- TFTP サーバ
- コア ダンプのコピー 1-36
 - サーバへのログ ファイルのコピー 4-27
 - ログ ファイルのコピー 4-26
- V**
- VTY ログ ファイル 4-3, 4-4
- X**
- XML
- CSS へのアクセス制限 5-11, 7-6
 - CSS へのアクセスの有効化 5-11
 - CSS への保護アクセス制限 7-6
 - CSS への保護アクセスの有効化 7-5
 - CSS への保護なしアクセスの制限 7-5
 - CSS への保護なしアクセスの有効化 7-5
- XML コード
- CLI コマンドの表記法 7-3

- CSS での使用 7-1
 - XML ドキュメントの例 7-4
 - 解析 7-6
 - 作成 7-2
 - テスト 7-8
 - 特殊文字 7-2
 - パブリッシュ 7-7
 - モード階層 7-3
- Z**
- zip ファイル
 - Cisco.com にある A-2
 - ネットワーク ブートに使用 2-21
- あ**
- アーカイブ
 - running-config 1-28
 - startup-config 1-28
 - startup-config、復元 1-32
 - アーカイブ、復元 1-31
 - スクリプト 1-29
 - ファイル、表示 1-4
 - ファイルを archive ディレクトリに 1-15, 1-27
 - ログ ファイル 1-29
 - ログファイル、復元 1-31
 - アクティブ SCM、ブート設定レコードのコピー 2-19
 - アクティブ化
 - RMON アラーム 6-23
 - RMON イベント 6-10
 - RMON 履歴 6-29
 - 新しいソフトウェアのインストール A-1, B-8, B-13
- い**
- イーサネット管理ポート
 - 統計情報の表示 5-32, 6-30
 - 統計データ 6-24
- え**
- エージェント
 - MIB 5-5
 - SNMP 5-2
 - SNMP エージェントとしての CSS、定義 5-12
 - 概要 5-2
 - エキスパート モード 3-11
 - エンタープライズ MIB 5-7
- か**
- 管理者のユーザ名
 - 設定 B-19
 - 管理パスワード
 - 設定 B-19
 - 管理ポートのデフォルト ゲートウェイ B-15
- き**
- キープアライブ スクリプトの例 8-53
 - 記述形式
 - sys.log メッセージ 4-28

- 配信不能ログ メッセージ 4-29
- く
- クイック スタート
 - DoS (サービス運用妨害) 5-24
 - RMON アラーム 6-13
 - RMON イベント 6-5
 - SNMP エージェントとしての CSS 5-13
 - ロギング 4-4, 4-5
- け
- 警告
 - warning レベル 4-3, 4-5, 4-11, 4-12
 - 記号の概要 xxvii
- ゲートウェイ、管理ポートのデフォルト設定 B-15
- こ
- コア ダンプ
 - FTP または TFTP サーバへのコピー 1-35
 - TFTP サーバへのコピー 1-36
 - 出力先ディスク、Offline DM による設定 B-25
 - 出力先ディスク、設定 (CLI での) 1-21
 - 表示 1-34
 - 無効化 1-33
 - 有効化 1-33
- コピー
 - CSS への新しいソフトウェア A-2
 - FTP または TFTP サーバへのログ ファイル 4-26
 - TFTP サーバへのログ ファイルの コア ダンプを FTP または TFTP サーバに 1-35
 - コア ダンプを TFTP サーバに 1-33
 - ディスク間のファイル 1-22
 - ブート設定レコード 2-19
 - ユーザ プロファイル 3-16
 - ログ ファイルを FTP サーバに 1-35, 4-26
- コマンド スケジューラ
 - 設定 8-4
 - レコードの表示 8-6
- コミュニティ
 - SNMP コミュニティの設定 5-15
 - SNMP トラップ ホスト、設定 5-17
 - 概要 5-10
- コンテンツ API
 - XML コードの解析 7-6
 - XML コードの作成 7-2
 - XML コードのテスト 7-8
 - 特殊文字 7-2
 - モード階層 7-3
- コンテンツ サービス スイッチ
 - HTTP サーバ、アクセス制御 7-5
 - MIB 5-41
 - SNMP、アクセス制御 5-11
 - terminal timeout、設定 3-9
 - システムの稼働時間、表示 1-48
 - システム リソース、表示 1-47
 - シャーシ情報、表示 1-39
 - 設定、表示 1-37
 - ネットワーク ドライブからのブート 2-19,

- 2-21
 - ユーザ端末パラメータ、設定 3-6
 - ロギング機能 4-4
- さ**
- 削除
- archive ディレクトリ 1-29
 - ディスク ファイル 1-25
- サブシステム
- ロギングの無効化 4-8
 - ロギングの有効化 4-8
 - ログ メッセージ 4-2
 - ログ メッセージ、定義 4-12
- サブネット マスク
- Offline Diagnostic Monitor メニューでの設定 B-15
 - プレフィックス表記、ユーザ用に設定 3-8
- サブネット マスクの表示形式、ユーザ用に設定 3-8
- サンプリング
- RMON アラームの間隔 6-22
 - RMON アラームの例 6-11
 - 絶対値 6-19
 - 定義 6-19
 - デルタ値 6-19
- サンプル変数、検索および定義 6-17
- し**
- しきい値
- 下降 RMON アラーム 6-21
 - 上昇 RMON アラーム 6-20
- システム設定情報スクリプト 8-51
 - システム リソース、表示 1-47
 - 実行プロファイル
 - FTP サーバにコピー 3-17
 - TFTP サーバにコピー 3-17
 - デフォルトプロファイルにコピー 3-16
 - ユーザ プロファイルにコピー 3-16
 - シャーシ情報、表示 1-39
 - 消去
 - RMON 統計情報 6-34
- す**
- スクリプト
- showtech 8-51
 - アーカイブ 1-29
 - アーカイブしたファイルの復元 1-31
 - アップグレードにあたっての留意事項 8-50
 - キープアライブの例 8-53
 - 実行 8-3
 - ディスクのディレクトリ 1-3
- スクリプト言語
- !no echo コマンド 8-9
 - echo コマンド 8-7
 - grep コマンド 8-39
 - set と no set コマンド 8-12
 - socket コマンド 8-42
 - 概要 8-1
 - 関係演算子 8-15
 - 機能 8-31
 - コマンド行引数 8-30
 - コメント 8-8

- 算術演算子 8-13
 - シンタックス エラー 8-35
 - スクリプトの終了 8-35
 - 増分および減分演算子 8-14
 - 特殊変数 8-18
 - 配列 8-25
 - ビット演算子 8-34
 - ブール論理演算子 8-15
 - 分岐コマンド 8-15
 - 変数 8-10
 - ユーザ入力の取り込み 8-29
- せ**
- セカンダリ設定パス、指定 2-11
 - セカンダリ ブート
 - 設定 2-8, 2-16, B-10
 - 設定パス、指定 2-11
 - タイプ、指定 2-9
 - セカンダリ ブート レコード
 - FTP ブート 2-6, 2-10, B-13
 - 格納先、CLI での設定 1-20
 - 出力先、Offline DM による設定 B-25
 - ディスク ブート 2-8, B-14
 - ネットワーク ブート B-11
 - セキュリティ オプション
 - Offline Diagnostic Monitor メニュー B-17
 - Offline Diagnostic Monitor メニューにパスワード保護を設定 B-17
 - セッション、ログ ファイルの場所の指定 4-18
 - 絶対値サンプリング 6-19
 - 設定
 - FTP サーバ レコード A-2
- そ**
- ソフトウェア
 - CSS への新しいソフトウェアのコピー A-2
 - GZIP 圧縮されたソフトウェア A-2
 - アップグレード (手動プロセス) A-14
 - アップグレードスクリプト A-5
 - 概要 1-2
 - ディスクからバージョンを削除 B-17
 - ディレクトリ 7-8, 8-4
 - バージョン形式 1-2
 - バージョン、表示 1-3, 1-38
 - ソフトウェアのアップグレード
 - CSS への新しいソフトウェアのコピー A-2
 - FTP レコードの設定 A-2
 - MIB A-17
 - 手動 A-14
 - スクリプト A-5
 - 手順 A-1
- RMON アラーム 6-11
 - RMON イベント 6-4
 - RMON 履歴 6-24
 - 設定のクイック スタート
 - SNMP エージェントとしての CSS 5-13
 - CSS の初期設定 2-2, 3-4
 - DoS (サービス運用妨害) 5-24
 - ロギング 4-4
 - 設定のクイックスタート
 - RMON アラーム 6-13
 - RMON イベント 6-5

- た
- 対象読者 xxii
- 代替設定パス B-6
- 端末パラメータ
- terminal idle、設定 3-6
 - terminal length、設定 3-7
 - terminal more、設定 3-7
 - terminal timeout、設定 3-8
 - 端末のサブネットマスク表示形式、設定 3-8
 - ユーザ固有、設定 3-6
- ち
- 注意
- ADI、削除 A-14
 - SNMP のコミュニティストリング 5-15
 - イーサネット管理ポートの IP アドレス、設定 B-15
 - 記号の概要 xxvii
 - 実行設定のリセット 1-10
- て
- ディスク
- CLI での設定 1-17
 - CLI でのフォーマット 1-18
 - CSS ディスク ドライブ障害(ネットワーク ブート) B-6
 - オプション、Offline Diagnostic Monitor メニュー B-20
 - 一般的な情報、表示 1-48
 - ソフトウェアバージョン、削除 B-17
 - ディスク間のコピー 1-22
 - ディスク チェックの実行 B-22
 - ディスク チェックの有効化または無効化 B-24
 - ディスクの再フォーマット (CLI での) 1-18
 - ディスクの再フォーマット (Disk Option メニュー) B-20
 - ディスクのチェックの実行 (Disk Options メニュー) B-20
 - バッファ サイズ、ロギングの指定 4-7
 - ファイルの削除 1-25
 - ファイル、表示 1-24
 - ブート、セカンダリ ブート レコード 2-8, B-14
 - ブート、プライマリ ブート レコード 2-4, B-9
 - へのロギングの無効化 4-15
 - マッピング、表示 1-24
 - モジュール、archive ディレクトリからのファイルの復元 1-30
 - ログ ファイルの場所の指定 4-15
 - ディスクからソフトウェアを削除 B-17, B-25
 - ディスク チェック
 - ディスクでの実行 B-22
 - ディスクでの有効化または無効化 B-24
 - ディスクの再フォーマット 1-18, B-21
 - ディスクのチェックの実行 B-20
 - ディスクのフォーマット 1-18, B-21
 - テキスト エディタ
 - running-config、作成 1-15
 - startup-config、作成 1-15
 - デルタ値サンプリング 6-19
 - 電子メール アドレスへのログ メッセージの送信 4-13

- と
- 統計情報
- DoS 5-24
 - RMON 6-2, 6-30
 - RMON の消去 6-34
 - イーサネット ポートの表示 6-30
- トラップ
- トラップ ホスト 5-4
 - トラップログ、表示 5-32
 - 背景 5-3
 - ホストの指定 5-13
 - ログ ファイル 6-37
- トラップログ ファイル 6-37
- な
- 内部ディスク モジュールのディレクトリ構造 1-2
- ね
- ネットワーク ドライブ、から CSS をブート 2-21
- ネットワーク ブート
- 制限 B-6, B-11
 - セカンダリ ブート レコード B-11
 - 設定、表示 2-24
 - プライマリ設定パスの指定 2-7
 - プライマリ ブート レコード B-6
- ハードディスク
- インストール済みソフトウェア バージョンの数 A-5
 - 再フォーマット 1-18
 - 設定 1-17
 - ディレクトリ構造 1-2
 - への記録 4-3
- 配信不能ログ メッセージ、記述形式 4-29
- パスワード
- Offline DM のメイン メニューの保護 B-18
 - 管理パスワード、設定 B-19
 - 保護、Offline Diagnostic Monitor メニューに設定 B-17, B-20
- パッシブ SCM
- IP アドレス、設定 2-13
 - passive sync コマンド 2-19
 - SCM セカンダリ ブート ファイル、設定 2-16
 - アクティブ SCM からブート設定をコピー 2-19
 - サブネットマスク、設定 2-18
 - セカンダリ設定パス、設定 2-18
 - セカンダリ ブート タイプ、設定 2-16
 - ブート レコード、設定 2-12
 - プライマリ設定パス 2-14
 - プライマリ設定パス、設定 2-15
 - プライマリ ブート ファイル、設定 2-14
- バナー
- プレログイン 3-14
 - ログイン 3-15
- は
- ハードウェア、シャーシ情報の表示 1-39

- ひ
- 表示
- CSS の設定 1-37
 - DoS 攻撃 5-27
 - SNMP の設定 5-29
 - コア ダンプ 1-34
 - システムの稼働時間 1-48
 - システム リソース 1-47
 - 一般的なディスク情報 1-48
 - ソフトウェア バージョン 1-3, 1-38
 - ディスク ファイル 1-24
 - ディスク マッピング 1-24
 - ハードウェア情報 1-39
 - ブート情報 B-16
 - ユーザ情報 1-48, 1-50
 - 履歴バッファ 3-13
 - ログ ファイル 4-20
- ブート情報の表示 B-16
- プライマリ ブート設定、指定 2-4, 2-5, 2-14, B-5
- ブート ログ
- boot.bak 4-3
 - boot.log 1-3, 4-2, 4-3
 - メッセージ 4-2
- 復元
- archive ディレクトリのファイル 1-30
 - startup-config 1-32
 - アーカイブした startup-config 1-32
 - アーカイブしたスクリプト ファイル 1-31
 - アーカイブしたログ ファイル 1-31
 - アーカイブ ファイル 1-31
 - スクリプト 1-31
 - ログ ファイル 1-31
- プライマリ設定パス、ネットワーク ブート用に指定 2-7
- プライマリ ブート
- 設定 2-4, 2-5, 2-14, B-5
 - タイプ、設定 2-5
 - ファイル、指定 1-18, 1-20, 1-21, 2-4
- プライマリ ブート レコード
- FTP ブート B-8
 - 格納先、CLI での設定 1-20
 - 出力先、Offline DM による設定 B-25
 - セカンダリ ブート B-10
 - ディスク ブート 2-4, B-9
 - ネットワーク ブート B-6
- フラッシュ ディスク 1-17
- インストール済みソフトウェア バージョンの数 A-5
 - 再フォーマット 1-18
- ふ
- ファイルの場所、ロギングの指定 4-14
- ブート設定
- 設定レコードのコピー 2-19
 - 代替設定パス 2-21
 - パス、セカンダリの指定 2-11
 - 表示 2-20, B-16
 - フローチャート B-4
 - メニュー オプション B-5
 - モード設定 2-3
- ブート ファイル
- セカンダリ ブート設定、指定 2-8, 2-9, 2-16, B-10

- ディレクトリ構造 1-2
 - への記録 4-3
- ブリッジ、統計情報の表示 5-32
- プレフィックス表記、サブネットマスク表示用に設定 3-8
- プレログインバナー、設定 3-14

へ

変更

- CLI プロンプト 3-12

ほ

- ホスト名、設定 3-9
- ホスト、ログファイルの場所の指定 4-17

ま

マニュアル

- 関連 xxiv
- 記号と表記法 xxvii
- 章の内容 xxiii
- セット xxiv
- 対象読者 xxii

マネージャ

- MIB オブジェクト 5-5
- SNMP 5-2
- SNMP 設定の計画 5-11
- SNMP マネージャによる CSS へのアクセス、有効化 5-30
- 概要 5-2

む

無効化

- コア ダンプ 1-33
- ディスク チェック B-24
- ディスクの sys.log ファイルへのロギング 4-16
- ディスクへのロギング 4-16
- ロギング 4-8

ゆ

ユーザ

- 情報、表示 1-50

ユーザ端末パラメータ

- terminal idle、設定 3-6
- terminal length、設定 3-7
- terminal more、設定 3-7
- terminal timeout、設定 3-8

設定 7-1

- 端末ドメインロックアップ、設定 3-6

ユーザ プロファイル

- コピーと保存 3-16
- 設定 3-2

り

リセット

- running-config 1-10
- startup-config 1-10

履歴バッファ

- 修正 3-13
- 表示 3-13

- ろ
- ログイン
- ACL アクティビティ 4-12
 - boot.bak 4-3
 - boot.log 4-3
 - CLI コマンド 4-19
 - CSS 回線の宛先、指定 4-18
 - running-config の例 4-6
 - sys.log 4-3
 - sys.log ファイルへの無効化 4-16
 - sys.log ファイルへの有効化 4-16
 - sys.log ファイルへ、有効化 4-15
 - sys.log メッセージの記述形式 4-28
 - 概要 4-2
 - クイック スタート テーブル 4-4, 4-5
 - コマンド 4-2
 - サブシステムでの有効化 4-8
 - サブシステム、無効化 4-8
 - サブシステム、有効化 4-8
 - 設定モードでの設定 4-4
 - ディスクからオフにする 4-15, 4-16
 - ディスクの特定のファイルへ 4-15
 - ディスク バッファ サイズの指定 4-7
 - 電子メール アドレスへの送信 4-13
 - 配信不能メッセージの記述形式 4-29
 - ファイルの場所 4-14
 - ホストからオフにする 4-18
 - ホストの場所、指定 4-17
 - ホストへ、無効化 4-18
 - 無効化 4-18
 - レベル 4-11, 4-17
 - ログ状態 4-23
 - ログ ファイルの表示 4-20, 4-23
 - ログイン バナー、設定 3-15
 - ログ ファイル
 - FTP サーバへのコピー 1-35, 4-26
 - FTP または TFTP サーバへのコピー 4-26
 - sys.log 1-3
 - TFTP サーバへのコピー 4-27
 - アーカイブ 1-28
 - アーカイブ ファイルの復元 1-31
 - 出力先、CLI での設定 1-21
 - 出力先、Offline DM による設定 B-25
 - 場所、回線の指定 4-18
 - 場所、ディスクの指定 4-15
 - 表示 4-20
 - ブート 1-3
 - ブートおよびサブシステム 4-2
 - ホストの場所、指定 4-17
 - ログ アクティビティ 4-20
 - ログ状態 4-23
 - ログ メッセージ
 - CSS の 4-2
 - sys.log メッセージの記述形式 4-28
 - サブシステム 4-2
 - サブシステム、設定 4-12
 - 電子メール アドレスへの送信 4-13
 - 配信不能メッセージの記述形式 4-29
 - ブート 4-2
 - メッセージ フィールド (Debug-7 ログイン) 4-32